

令和4年2月吉日

保護者の皆様へ（家庭数）



## 2021年度 学校教育自己診断分析・結果

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施しました学校教育自己診断の結果・分析をお知らせいたします。保護者の皆様の回答率は87%でした。多くの保護者の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。今年度は質問事項を変更し、今年度の教育目標と照らしあわせながら分析を行いました。

### 【保護者】結果の分析と考察

今年度は昨年同様、全部で22項目の質問項目としました。質問内容を大きく分けると生活指導と学習指導、学校生活について、家庭学習の状況です。22項目の内18項目で90%以上の肯定的評価を得る結果となり、たいへん喜んでおります。高く評価されている項目と課題のある項目に焦点を当て考察し、来年度に繋げていきたいと存じます。

#### （高く評価されている項目）

9割を超えている項目は22項目の中で18項目もあり、特に設問8「基礎基本の学力を身につけさせてくれる」と設問9「ICT機器（大型テレビ・書画カメラ・タブレット等）を活用して分かりやすい授業を行っている」と設問20「学校からの情報発信（各便り・ミルメール・ホームページ・ブログ等）で学校の様子を知る事ができる」は98%と非常に高い評価をいただきました。次いで、設問4「先生は子どものことをよく理解している」と設問5「先生は保護者の相談に丁寧に応じてくれる」と設問14「すべての教育活動で人権を尊重する姿勢で指導している」が97%と高い評価をいただきました。

経年比較し上昇した項目は設問4「先生は子どものことをよく理解している」と設問9「ICT機器（大型テレビ・書画カメラ・タブレット等）を活用して分かりやすい授業を行っている」と設問20「学校からの情報発信で学校の様子を知る事ができる」は昨年より4%上昇しました。評価は高くないけれど設問19「子どもは家でタブレットドリルや自主学習をよくしている」は昨年より10%も上昇し56%でした。タブレットが家庭学習へのきっかけとなればと思っています。

#### （評価に課題のある項目：家庭学習）

評価に課題がある項目は今年度も『家庭学習』でした。設問19は10%上昇しました。上記したようにタブレットを家庭で活用した学習は進んでると考えられます。しかし、設問17「子どもは家で予習・復習（宿題を含む）をよくしている」は昨年より2%低い69%、設問18「子どもは家で自分で計画を立てて学習している」は昨年より3%低い53%でした。この結果は残念ながら計画を立てずに宿題だけすまったり、家庭で宿題もしない子もいることとなります。授業を観察して実感していることですが、どの学年の児童も学校では授業に積極的に取り組んでいます。その子どもたちが家庭で学習しないのは本当に残念です。お忙しいとは思いますが、保護者の皆様にお願ひがあります。学校で学習した事は復習したり反復練習する事で学力が定着していくので、一緒に学習したり、宿題を見ていただくと非常にありがたいです。

#### （学校生活）

学校生活で昨年より高く評価されているのは設問4「先生は子どもの事をよく理解している」97%でした。

枚方市立交北小学校  
校長 定井 則久



先生方は「クラス」「なかよし」で担任している一人ひとりの子どもの特徴を理解し、見守り、寄り添って声をかけてくれています。その結果が評価に表れたと思います。しかし、設問1「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」が昨年より3ポイント低い91%でした。コロナ禍の影響もあり、すべてにおいて制限される中での取り組みになってしまったことが大きな要因と思われます。（思いっきり楽しめない、遊べない）

設問11「学校行事は充実している」も昨年より4ポイント低い85%でした。児童の同じ項目は98%に対し、保護者が低いのは学校行事への保護者の参観・見学の制限をかけたことが原因であると考えられます。児童は行事に対しそれなりに楽しんでいますが、保護者は直接それを実感できないことが不満につながっているのだと思いますが、制限をかけることで学校はコロナ感染防止対策をし、新型コロナウイルス感染から子ども達を守っています。また、「他校と比べて・・・」という意見もありますが、交北小学校は市の方針に従って堅実に行事をしていることをご理解ください。

#### （学習指導）

設問9「学校はICTを活用してわかりやすい授業を行っている」は昨年より4%高い98%と評価されています。子ども達もタブレットの扱いに慣れてきて、教員もタブレットや大型テレビを上手に扱い利用しながら授業を進めている結果が出た評価となりました。ロイロノートでの課題の提出や将来役立つプレゼンテーション、プログラミング教育、ローマ字入力など、子ども達もタブレットをうまく扱えるようになりました。

設問8「基礎基本の学力を身につけさせている」は昨年より1ポイント高く98%と非常に高い評価でした。授業での子どもに寄り添った指導や理解できなかったことや宿題を放課後残って学級担任（支援学級も含む）が個別に見ています。

#### （生活指導）

指導については本校の教員は子ども達一人ひとりに寄り添い、丁寧に気持ちを聞いている場面をよく見ます。その結果は設問12「挨拶や基本的な生活習慣等の規範意識を身につけさせる」93%、設問14「人権を尊重した指導」97%、そして設問17「生活指導は適切である」94%と高い結果となりました。今後も子ども達の気持ちに寄り添った丁寧な指導をしていますが、甘やかすのではなく、「ダメなときはダメ」と言い続け、時には厳しい態度で指導することもありますのでご理解ください。

#### （情報発信）

設問20「学校からの情報発信（各便り・ミルメール・ホームページ・ブログ等）で学校の様子を知る事ができる」は昨年より4%高い98%、設問21「学校だよりや懇談会によってクラスの様子を知る事ができる」は3%高い95%と非常に高い評価でした。参観・懇談ができないので、特にブログで学校の様子を丁寧かつ細やかに伝えるようにした結果をご理解いただけたと思います。今後も続けていきますのでよろしくお願いいたします。

（保護者の主な意見より）個人的なご意見は各担当にご相談ください。

- 運動会をはじめ行事の短縮・縮小については賛否両論ありましたが、新型コロナ感染防止対策が続く間は対策を講じていきます。感染者が出ることをまず防ぐことを第一とします。
- 情報発信へのお礼の言葉：ブログの開設や定期的な学級通信、校外学習の様子などのミルメール発信、コロナ禍の中でのこまめな連絡帳や電話連絡がありがたかったという意見が複数ありました。
- 通学路の安全については学校主導はできないので、学校も地域コミュニティにはお願いしています。今年度は「飛び出し注意」の看板と田口診療所付近の安全、通学路の変更についてもお世話になりました。



## 【児童】結果の分析と考察

全部で28項目の質問項目の内、17項目が90%以上の非常に高い結果、6項目が80~90%の高い結果となりました。残りの5項目については課題のある項目であり、学校と家庭が連携して考えていかなければならない課題を含んでいます。これらについて考察し、学校で検証しながら令和4年度に繋げてまいります。

(学校生活に関わる項目)設問1~7

### 【学校生活の充実】

子どもたちが特に高く評価しているのは昨年同様、設問7「運動会や校外学習、修学旅行などの行事は楽しい」98%については学校で企画している行事に満足している児童が多かったです。しかし、設問1「学校は楽しい」ことにはつながらず昨年より5ポイント低い91%でした。新型コロナウイルスによる感染防止対策のため、思い切って学校生活が送れない事が原因となっているように思います。

その他、設問6「協力して掃除をしている」94%、設問2「きまりを守っている」93%、設問4「学校は安心して過ごせる」93%、設問5「クラスは落ち着いて勉強をすることができる」91%など昨年とかわらない評価でした。課題としては設問3「日頃からあいさつをよくする」が86%で、昨年よりは2%高い結果でしたが、あいさつができてない児童が14%います。「あいさつ」は心のスキンシップともいいます。相手と良い人間関係をつくるためにも「あいさつ」は欠かせないものです。また、社会に出ると礼儀としてあいさつも大切になってきます。交北小の児童の皆さん「気持ちの良いあいさつ」ができる人になってほしいと願っています。

(授業の様子、学校での学習状況に関わる項目)設問8~18

### 【授業は高く評価されている】

授業に関わる項目では11項目の内8項目が90%を超える素晴らしい結果となりました。子どもたちが特に高く評価しているのは設問14「道徳で人としてより良く生きることを学んでいる」は昨年より2%高い97%でした。「交北小だより」1月号にも「自分の受け止め方ひとつで」と題して人がより良く生きていくために考え方や生き方を示した話を載せたり、道徳の授業では物語の内容だけを理解するのではなく、よりよく生きていくためには自分はどうすればよいのかを考え表現する授業をしています。設問10「授業の目標(めあて)が示されている」と設問16「先生は自分の考えや意見を大切にしてくれる」、設問17「先生は勉強で分からないところをていねいに教えてくれる」は96%と高い結果でした。授業の初めに「めあて」が示されるのは授業の「枚方スタンダード」なので、本当は100%を目ざすべきだと考えています。また、設問18「先生は相談すれば話をよく聞いてくれる」は94%で、先生が子どもたち一人ひとりを大事に思い、児童によりそっている結果であると思っています。

設問15「TV・書画カメラ・タブレットなどICT機器を活用した授業はよく分かる」は昨年より2%高く95%でした。タブレットが一人一台となり、1年がたちます。子ども達もタブレットで学習する事が普通になりました。調べ学習の方法も覚え、2年生からローマ字入力を習ったり、高学年は調べた結果をプレゼンテーションができるように表現したりしています。そのことが設問8の「授業はよくわかり、楽しい」92%の結果として現れたのではないのでしょうか。また、設問13「授業や給食を通して食の大切さを学んでいる」も昨年同様95%と高い結果でした。ブログでも紹介しているように招提小学校の栄養教諭の高木先生が食育の出前授業を全学年にいただいています。授業では給食の野菜は地産地消で枚方市の農家で育てている野菜を給食に使っている事や給食の栄養バランスのお話などとても分かりやすい食育の授業をいただいています。



設問11「授業で自分の考えを深めたり広げたりすることができる」が89%で昨年より1%上昇しました。タブレットのロイロノートで児童同士の意見をつないだり、調整する事ができています。みんなの意見をつなげるタブレット上のノートのような役割を果たします。ロイロノートを活用したプレゼンテーションもできるようになっています。このようにロイロノートの活用が今後、発表の機会を増やしたり、考えを深めてくれると期待しています。

【一部教科担任制・少人数授業(算数)】設問27「一部教科担任制は分かりやすく楽しい」は昨年は91%と昨年より5%ダウン、設問28「少人数授業はていねいに教えてくれるのでよく分かる」89%と3%低い結果となりました。昨年度から5・6年生で実施している一部教科担任制は専科の先生が専門的な指導をすることにより授業が分かりやすく、中学校ではすべて教科担任制なのでその学習形態を中学校になる前に慣れておくことと中学校生活へのギャップの解消となる事を目的として実施しています。しかし、時間割の変更が難しかったり、担任がクラスの子も達をすべて見るわけでないので他の授業中に問題が起きた時に対処しにくい。など課題が多くあるので見直していく必要があります。「少人数授業(算数)」についてはクラスを2分割し、に分けることで、子ども達にとって丁寧でわかりやすい授業になっています。

【学習状況の課題】設問9「自分の考えを発表する機会がよくある」は昨年より5ポイント低い81%でした。19%の人が自分の考えを発表する機会が無いと感じていますが、授業観察をしているとタブレットで考えたことをロイロノートで提出し、それを拡大画面に映して意見を言っている場面をよく見ます。しかし、全員の意見を拾い上げるのは難しいのでそう感じているのかもしれませんが。

(児童本人に関わる項目・家庭学習)設問19~25・28

【本人に関わる項目】設問19「朝食は毎日食べている」は94%、設問25「人の役に立つ人間になりたい」97%でした。朝食については100%でなければいけません。朝食の重要性は①エネルギーを蓄積・利用する。②眠っている身体を起すこと。③排便を促すこと。文部科学省は『はやね・はやおき・あさごはん』を推進しています。一日の学校生活を健全に過ごすために朝ごはんは必要不可欠なものです。交北小学校の子ども達の掃除の様子を見ていると本当に一生けんめい掃除をします。人の役に立とうとしている姿が端々に見られます。『自分の携帯電話・スマホを持っている』児童が62%、『スマホでSNSやゲームをよくしている』児童が65%、多くの児童がスマホを持っている事に驚きました。子どもにスマホを持たせるに当たっては必ず使用の仕方や守るべきルールを家庭で決め、使用時間も決めて使わせるようにし、SNS上の問題(人の悪口の書き込み、長時間のゲーム、写真の添付、被害者になる事など)の無いようご注意ください。

【家庭学習に関わる項目】

設問22「家庭で予習・復習(宿題を含む)を必ずしている」は86%で、高い評価となりましたが、設問23「自分で計画を立てて勉強している」が70%、設問24「家庭学習ではタブレットドリルや自主学習に取り組んでいる」60%と低い結果でした。保護者の考察でも言及しましたが、アンケートを取ったのが12月で1年~5年のタブレット配付は1月だったので、仕方がないとしても、自主学習ができていないということになります。交北小では自主学習ノートの取組みを全体として実施しています。特に優秀なノートは校長室前に掲示もしています。自主学習ノートの取組みを継続しながら、タブレットを持って帰り、枚方市学習コンテンツのタブレットドリルや大阪府の家庭学習教材『力だめしプリント・理科のハンドブック・ワークブック(全学年:国語と算数)』などをインターネットで検索しダウンロードして自主学習してください。

